

# オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第91号

2021年2月16日

<http://www.australianstudies.jp/>

## 1. 代表理事交代のご報告

前代表理事 鎌田真弓

第11期第4回理事会（2020年12月13日）にて、代表理事の交代をご承認いただきました。第10期理事会より大役を務めさせていただきましたが、2期に渡る重責の負担は大きく、任期途中ではございましたが辞任をご了承いただき、新代表理事として南出眞助理事が選任されました。

学際的な研究活動の場の拡充、開かれた学会運営、国際的な学会活動という第10期理事会での3つの目標に加えて、第11期理事会では電子媒体を活用した情報共有の場を充実すべく、微力ながら尽力して参りました。2020年度の全国大会は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、急遽オンライン方式での小規模な大会となりました。初めての試みでしたので、研究成果の報告の場としてご満足いただけなかったかと存じますが、これからの研究大会や地域研究会の運営に活かさせていただければと思います。

今後も理事として、南出代表理事のもとで残任期間を務めさせていただきたいと存じます。4年半にわたる皆様のご支援に感謝申し上げます、代表理事交代のご報告をさせていただきます。

## 2. 代表理事交代のご挨拶

代表理事 南出眞助

去る12月の理事会決定により、鎌田真弓先生の代表理事としての残期間（2022年6月まで）を交代することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。これまで地域研究会（関西例会）担当理事として何期か務めました。運営委員の経験がなく、学会運営全般にわたる業務の年間スケジュールがまだ実感できていません。この1か月だけでも、理事の先生方にはご迷惑のかけっぱなしです。もとより全会員200名余の小さな組織です。すから、皆様方の忌憚のないご意見や直接的なご協力をたまわりたく、重ねてお願い申し上げます。いまは、6月に福島大学での大会が無事開催できることが最重要課題です。

## 3. オーストラリア学会 2021年度総会・全国研究大会 概要

2011年に起きた東日本大震災・福島第一原子力発電所事故の発生から、今年で10年が経ちます。2021年度全国研究大会は、オーストラリアにも大きな衝撃を与え、日豪関係にも影響を与えたこの出来事を再考し、その教訓と今後の展開を検討することを統一テーマとして、福島で開催いたします。

日時：2021年6月12日（土）・13日（日）

会場：福島大学（1日目）〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

<https://www.fukushima-u.ac.jp/access/>

ザ・セレクトオン福島（2日目）〒960-8068 福島県福島市太田町13-73

<http://celecton-fk.jp/access/>

担当：村上雄一（福島大学）・塩原良和（慶應義塾大学）・川端浩平（津田塾大学）

※プログラムは変更される可能性があります。詳細は会報次号にてお知らせいたします。

□第1日目：6月12日（土） 会場：福島大学

10:00 理事会

13:30 開会セレモニー

14:00-14:45

アーティストトーク 米谷健+ジュリア ※同時通訳あり

「見えない恐怖、絶えない不安と表現の力」

15:00-18:00

豪日交流基金 (AJF) 助成シンポジウム 1 ※同時通訳あり

「フクシマの教訓」

司会：生田目学文（東北福祉大学）

報告者：

ピーター・ヴァン・ネス（オーストラリア国立大学） ※オンラインでの報告

ティルマン・ラフ（メルボルン大学・ICAN） ※オンラインでの報告

川崎哲（ピースボート）

細川弘明（京都精華大学・原子力市民委員会）

藍原寛子（ジャーナリスト）

質疑応答・討論

18:15 懇親会 ※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては中止することがあります。

□第 2 日目：6月13日（日） 会場：ザ・セレクトン福島

10:00-12:00 一般個別研究報告

12:00-13:00 昼食休憩／理事会

13:00 総会

14:00-16:30

豪日交流基金 (AJF) 助成シンポジウム 2 ※日本語

「フクシマから始まる越境：オルタナティブを考える」

司会：塩原良和（慶應義塾大学）

報告者：※いずれも仮題

アレクサンダー・ブラウン（シドニー工科大学） ※オンラインでの報告

「越境する資源、越境する社会運動：もう1つの日豪関係史」

若松亮太（モナシュ大学博士課程） ※オンラインでの報告

「破壊から希望へ：原発災害後の海外移住が意味するもの」

川端浩平（津田塾大学）

「多文化的実践と放射能汚染：福島の朝鮮学校コミュニティのフィールドワークから」

質疑応答・討論

16:30 閉会挨拶

#### 4. 2021 年度全国研究大会 個別研究報告 申請延長のお知らせ

2021年6月12日（土）・13日（日）の両日に福島大学にて開催予定の全国研究大会における個別報告の申請期間を延長しました。報告を希望される会員は以下の Web フォームに必要事項を明記の上、2021年2月21日（日）までにお申し込みください。

<https://forms.gle/yGuaGxTyqs5Ls1hk9>

問い合わせ：濱野健（全国大会担当理事、[hamano@kitakyu-u.ac.jp](mailto:hamano@kitakyu-u.ac.jp)）

#### 5. 第 11 期第 4 回理事会報告

第 11 期第 4 回理事会が 2020 年 12 月 13 日（日）、オンライン形式で開催されました。出席理事は 15 名、委任状提出理事 2 名、出席幹事 1 名でした。以下、概要をご報告いたします。

##### 【報告事項】

1. 2021 年度総会において提案する理事会任期に関する会則の変更に関する報告

2. 学術会議に関する JCASA（地域研究会連絡協議会）緊急宣言、さらに「日本学術会議第 25 期推薦会員任命拒否に関する人文・社会科学系学協会共同声明」に関する報告
3. 2021 年度大会（福島大学）ならびに 2022 年度大会に関する報告
4. マイページ（研究領域、メールアドレス）未登録者に関する報告
5. 学会誌（第 34 号）の編集進捗状況に関する報告
6. 会費の納入状況に関する報告

#### 【審議事項】

1. 国際文献社との新年度業務委託契約が承認された。今後の会計業務については、学会会計担当理事が決算報告書を単式簿記で作成することになるのに伴い、場合によっては事務補助のアルバイト採用の必要があることが確認された。なお今後の決算・予算会計業務の流れについては、決算報告書の作成以外には大きな変化はないことが確認された。
2. 2020 年 6 月に承認された「複数の報告者（非会員を含む）の研究大会での個別報告資格」に関する規定の文言について、「日本人」を「国内正会員」へ修正することが提案され、了承された。
3. 2021 年度研究大会における開催形態の決定時期について、オンライン開催の判断を 1 月末までに行い、メール審議で決定することが提案され、了承された。また、海外からの非会員の個別研究報告資格については、来年度の福島大会までに参加費の徴収のシステムを整えば徴収し、そうでない場合は徴収しないこと、また今後は徴収することを念頭に、濱野理事に具体的な徴収の方法について調査をお願いすることが提案され、了承された。
4. EBSCO 登録について、契約書類内容を確認中であり、結果は随時報告する旨が報告され、了承された。
5. 優秀論文賞審査委員会の立ち上げについて、人選に関して運営委員会にて相談しつつ、理事会の ML で審議するとの提案があり、了承された。
6. 入会 3 名、退会 4 名、退会予定 4 名に関する報告があり、承認された。
7. 代表理事の交代について提案があった。審議の結果、南出理事に交代することが承認された。なお任期は鎌田代表理事の残任期間とし、2022 年 6 月までとする。
8. 学会 HP の「活動紹介・年間スケジュール」の掲載について検討の必要性が指摘された。

以上

## 6. 会費納入のお願い

年会費の請求は年度の始まり 4 月に行いますが、年会費が納入されると、納入時期にかかわらず未払い年度がある場合そこへ充当されます。たとえば 2021 年 2 月に年会費を納入しても、2019 年度未払いの場合、それは 2019 年度の会費となります。すなわち、2020 年度は未納ということになります。また 2018、2019 年度未払いの場合、2018 年度分の会費納入になります。

<会費が未納となっている会員の皆様へ>

会費が未納の皆様へは、請求を別便にて送付します。未納年度分（2020 年度を含め最多 3 年）を速やかに振込票にて納入願います。未着の方はアカデミーセンター「オーストラリア学会」担当宛までお知らせ願います。なお、会費振込票に会員名の記載がない場合、振込会員を特定できないため、必ず会員名をお書きください。また原則領収書は発行していません。郵便振替票の受領書などをご利用願います。

会費未納の会員の皆様には、当該年度の会費納入が確認され次第、学会誌『オーストラリア研究』（現在 2020 年 3 月発行、第 33 号）までをお送りしております。事務局では 3 年分の在庫を保管しておりますので、順次発送しておりますが、お手元に届くまで若干時間がかかる場合もあります。会費納入にもかかわらず未着の学会誌がありましたら、恐縮ですが、学会事務局（アカデミーセンター）にご連絡ください。

## 7. 「マイページ」登録と内容更新のお願い

オーストラリア学会では会報の電子化を進めています。昨年度まで学会直前号のみ他の配布物と併せ紙媒体で発行していましたが、今年度より学会直前号を含むすべての会報を電子化します。会報電子版は学会ウェブサイトに掲載されますが、発行のお知らせは「マイページ」に登録された電子メール宛てに送られます。ア

ドレスの登録・確認・更新をお願いいたします。

マイページ URL : <https://www.bunken.org/asai/mypage/User>

## 8. 『オーストラリア研究』 投稿募集および研究文献目録掲載のお知らせ

オーストラリア学会では、『オーストラリア研究』に掲載する論文を募集しています。投稿はいつでも受け付けております。2020年1月21日付で投稿要領を改訂しました。改訂版の投稿要領・投稿申込書・投稿先はウェブサイトをご参照ください。投稿申込書もウェブサイトからダウンロードしてください。2022年3月刊行予定の第35号の投稿は2021年8月末で締め切ります。不明な点などがあれば、編集担当理事・塩原良和 ([shiobara@law.keio.ac.jp](mailto:shiobara@law.keio.ac.jp)) までお問い合わせください。

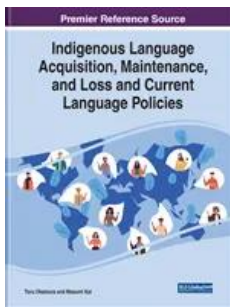
第12号以降、会員の研究文献目録を掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などの中から、オーストラリア学会の趣旨に関する研究文献を選び、電子メールでお知らせください。締め切りは2021年10月30日です。記入例はバックナンバーを参照し、掲載書式に準ずる形でお送りください。

投稿先：〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター「オーストラリア学会」担当

TEL : 03-6824-9372 FAX : 03-5227-8631 Email : [asai-post@bunken.co.jp](mailto:asai-post@bunken.co.jp)

『オーストラリア研究』ウェブサイト : <http://australianstudies.jp/publish/index.html>

## 9. 新刊書のご案内



Toru Okamura (岡村徹) and Masumi Kai (甲斐ますみ) eds., *Indigenous Language Acquisition, Maintenance, and Loss and Current Language Policies*, IGI Global US, 2020年8月発行、A5判、300頁、15,000円+税

世界の「危機言語」の現状とその課題解決に向けた提言を行った書籍。第二部は、オーストラリアおよびオセアニア島嶼国・地域の諸言語を扱っている。

出典

表紙画像は[出版社ウェブサイト](#)より取得、概要は編者より提供

### 【諸届出／連絡先】

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター「オーストラリア学会」担当

TEL : 03-6824-9372 FAX : 03-5227-8631 Email : [asai-post@bunken.co.jp](mailto:asai-post@bunken.co.jp)

### 【オーストラリア学会事務局】

〒340-0042 埼玉県草加市学園町 1-1 獨協大学外国語学部 永野隆行研究室気付

TEL : 048-943-1242 Email : [tnagano@dokkyo.ac.jp](mailto:tnagano@dokkyo.ac.jp)

会費振込先：00190-3-157063 加入口座名：オーストラリア学会

※ 本会報は学会記録のほか、会員からのご意見や著書・新刊情報などを掲載します。学会事務局までお送りください。なお紙面の制約上、掲載できない場合がありますことをご了承ください。

[編集担当：藤岡伸明 (静岡大学) / 編集協力：小野塚和人 (神田外語大学)]